国際観光学科 1年 前期 専門基礎科目／専門科目

1. 観光概論
2. インバウンド概論
3. 観光福祉論
4. 観光マーケティング論
5. 旅行事業経営論
6. ニューツーリズム概論
7. フードシステム論

国際観光学科

科目名: 観光概論				担当教員 氏名: 齋藤 望		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: ;日本国内及び海外での観光産業や観光開発における実務経験を活かして、学術的視点と実務的視点を盛 り込みながら観光概論について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
観光を学ぶ意味を理解し、観光が人間、企業、地域、社会、国際経済にもたらす効果を知る。観光産業のしくみを学ぶと共に、旅行業、宿泊産業、交通運輸業、テーマパーク等の各産業のビジネスモデルを理解する。また観光資源や観光対象、観光行動と情報、観光政策と観光行政の基礎、観光マーケティングの対象と、観光消費の対象となる商品、観光統計学の基礎、さらに、観光の歴史と今後の特に国際観光(アウトバウンド、インバウンド)についてその基本を学ぶ。					観光、インバウンド、地域社会、経済、 情報、効果と影響	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)			
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 0 %	レポート: 60 %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: プレゼンテーションやレポート課題を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: クラスの進み具合に合わせて、フレキシブルに対応する。プレゼンテーション及びレポートへのコメントやアドバイスは個別に対応する。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な 時間(分)
①イントロダクション:観光学を学ぶ魅力とは?					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
②観光の世界史と日本史					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
③観光者の行動と心理					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
④観光の効果と影響①					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑤観光の効果と影響②(フィールドワーク)					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑥観光とホスピタリティ					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑦【特別講義】様々な観光関連産業の仕組みとビジネスモデル					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑧観光産業調査(旅行業界、航空業界、宿泊業界など)①					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑨観光産業調査(旅行業界、航空業界、宿泊業界など)②					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑩【特別講義】観光と地域社会					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑪観光への期待:多様化する現代の観光形態(世界と日本のトレンド)					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑫インバウンド観光がもたらす国際社会への影響と効果					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑬観光とポストコロナ					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑭今まで学んだことの振り返り					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
⑮まとめ					【予習】資料 【復習】資料	【予習】120分 【復習】120分
使用テキスト:特になし。 適宜資料を配布します。					その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 観光学の基礎となる科目です。毎回しっかり予習、復習し、今後の講義に活かしてください。						

国際観光学科

科目名: インバウンド概論				担当教員 氏名: 安田 亘宏		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 旅行会社社員としての実務経験を活かして、インバウンドおよび観光まちづくりについて教授する。						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
インバウンド、すなわち訪日外国人旅行は日本のツーリズム産業を発展させ、変革させる大きな潮流となるのみならず、地域を元気にする地域創生の起爆剤になる。近年急成長してきたが、2019年に発生した新型コロナによる世界的なパンデミックは日本のインバウンドを激減させた。しかし、アフターコロナにおいて、再び拡大していくことは確実である。インバウンドに関する基礎知識や、実践的なスキルを学び、世界の様々な国から多くの訪日外国人旅行者を迎え、安全で快適な、また思い出に残る日本の旅を楽しんでもらい、日本のファンになり、再訪してくれるよう、それぞれの国ごとに、的確なサービスを提供することが必要になる。インバウンドビジネスの現状、地域別マーケットの特性を知り、地域創生に係るインバウンドの実務ができる人材、市場から高い消費額を創出できる人材を育てる。					インバウンド、地域創生、交流人口 観光まちづくり、ニューツーリズム アフターコロナ	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A	知識・理解力		インバウンド業務の知識を体系的に理解する。			
B	専門的技術		インバウンドの専門的技術を、社会貢献、自己実現に活用できる。			
C	論理的思考力		情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D	問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析、解決の方向性をたてることができる。			
F	チームワーク・リーダーシップ		地域創生のために他者と強調・協働して行動したり、リーダーシップを発揮できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト/課題: 60 %		レポート: %		発表: %		実技試験: %
その他: 40 %						
特記事項: 学期末課題の成績(60%)、その他(授業参加度・コメント票等)(40%)により総合的に評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 期末課題を実施。毎回コメント票を実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 毎回コメント票を行い、フィードバックする。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な 時間(分)	
①講義全般説明 —インバウンド概説				【予習】インバウンドを調べる 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
②インバウンド総論1 —インバウンドの現状・訪日外国人旅行者数・国地域別現状				【予習】教科書第1課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
③インバウンド総論2 —インバウンドの歴史・政策・業務				【予習】教科書第2課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
④インバウンドの現状と動向 —デスティネーション・旅行動向・期待活動・ビザ・課題				【予習】教科書第3課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑤インバウンドと消費 —インバウンドの消費動向・買物動向・飲食動向・決済・免税制度				【予習】教科書第4課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑥インバウンドとビジネスツーリズム —旅行業・宿泊業・鉄道交通・航空交通・道路交通				【予習】教科書第5課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑦インバウンドとビジネス—関連ビジネス —観光土産・ショッピング・飲食・施設・シェアリングエコノミー				【予習】教科書第5課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑧インバウンドとニューツーリズム —エコツーリズム・フードツーリズム・コンテンツツーリズム				【予習】教科書第6課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑨訪日外国人旅行者の理解 —中国・韓国・台湾・香港・タイ・米国・ムスリム・ベジタリアン				【予習】教科書第7課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑩訪日外国人旅行者への対応 —多言語・通信環境・ユニバーサル・安全対策・人財・情報				【予習】教科書第8課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑪インバウンドの集客 —ネット・旅行博・ファミトリップ・ガイドブック・ホームページ				【予習】教科書第9課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑫インバウンドと観光まちづくり —リゾート・祭り・商店街・城・温泉・世界遺産				【予習】教科書第10課題を読む 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑬インバウンドとホスピタリティ —観光ビジネスのホスピタリティ・旅行会社・宿泊施設・テーマパークのホスピタリティ				【予習】ホスピタリティを考える 【復習】富山の観光まちづくり調査		240分
⑭インバウンドと富山 —富山の観光まちづくり、富山インバウンドの現状と課題				【予習】富山の観光資源調査 【復習】重要事項の整理とまとめ		240分
⑮まとめ/アフターコロナとインバウンド —インバウンドの将来/コロナ禍の影響・外国人旅行者意向・対応策・キーワード/期末課題発表				【予習】教科書第12課題を読む 【復習】重要事項の整理		240分
使用テキスト: 安田亘宏著『新版インバウンド実務主任者認定試験公式テキスト』 全日本情報学修振興協会(2021) 定価2,530円 ISBN978-4-8399-7672-9				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): テキストとパワーポイント、画像、映像を使って分かりやすく解説します。予習、復習をしっかり継続することが求められます。						

国際観光学科

科目名: 観光福祉論				担当教員 氏名: 鷹西 恒		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 講師が障害当事者として経験していることをフィードバックする						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
観光の分野で福祉を学ぶことは重要である。少子高齢化や過疎化、介護等のニーズがある中、いかに安心して観光を楽しめるかがQOL(人生の質)を高める意味でも意義が深い。本講を通して各地のバリアフリーや福祉的対応について理解し、観光人材として必要な基礎知識を身につけてほしい。					福祉 バリアフリー、観光資源	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力			情報や知識を複眼的、論理的に理解し、表現できる。			
D 問題解決力			問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	50 %	レポート:	40 %	発表:	%	実技試験: %
その他: 10 %						
特記事項: その他とは出席率や学習への取り組み姿勢(提出物等)、態度のことである。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポートは適時、最終評価は筆記試験で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート等返却時のコメントによってアドバイスをを行う。						
授 業 計 画					準備学修(予習・復習等)	
					学修内容	学修に必要な時間(分)
①福祉と観光Ⅰ	～福祉とは何か、その意味について考える～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
②福祉と観光Ⅱ	～福祉的対応の国際比較～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
③旅行会社の取り組み	～旅行業法、バリアフリー旅行取り扱い事例～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
④空港の福祉的対応	～空の福祉、国内各空港の事例～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑤航空会社の福祉的対応	～搭乗可否の事例、制度、サービス面での福祉的対応とは～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑥陸上交通の福祉的対応	～鉄道、バス～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑦グループワークと中間評価				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑧宿泊施設の取り組み	～旅館業法、ユニバーサルルームの実際～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑨サービス介助士	～介護技術、観光分野への展開～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑩身体障害者補助犬の対応				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑪障がい者アートの可能性～アール・ブリュットとソーシャルインクルージョン～				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑫ディズニーから学ぶホスピタリティ				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑬福祉のまちづくり	～各地の事例～			【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑭観光と福祉における今後の課題と展望				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
⑮まとめ				【予習】配布資料を読む。 【復習】理解したことをまとめる。	240分	
使用テキスト: 「観光と福祉」 島川 崇 著 ISBN:978-4-425-92931-3 成山堂書店				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業の資料配付や課題レポート作成でGoogle classroomを使用します。						

国際観光学科

科目名: 観光マーケティング論				担当教員 氏名: 齋藤 望		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 国内及び海外での観光産業や観光開発における実務経験を活かして、学術的視点と実務的視点を盛り込みながら観光マーケティング論について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要: マーケティングの意味や目的、手法を学ぶ。顧客のニーズ・ウオント・需要の違いを理解し、購買意思決定プロセス、セグメンテーション、SWOT分析、さらに観光地のライフサイクルについて学ぶ。また旅行商品の流通チャネル、価格戦略、ブランド構築のプロセス、カスタマー・リレーションシップ・マネジメント、データベース・マーケティングについて学ぶ。このような理論をベースとして、旅行会社、航空会社、ホテル、観光PRのそれぞれの現場で実際にに行われているビジネス上のケーススタディについても学ぶ。					キーワード	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1、2、3、4、5、6		
A 知識・理解力		知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。				
C 論理的思考力		情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 0 %	発表: 40 %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> 、 <u>レポート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストは、中間および期末試験を実施する。プレゼンテーションは、期末に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: クラスの進み具合に合わせて、フレキシブルに対応する。テストおよびプレゼンテーションへの評価、コメントやアドバイスは個別に対応する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①イントロダクション:なぜ観光マーケティングが必要か?			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
②マーケティングの基礎と観光マーケティングの特徴			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
③市場環境			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
④戦略的マーケティング			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑤【特別講義】マーケティング・リサーチ			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑥消費者行動			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑦製品戦略			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑧価格戦略			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑨コミュニケーション戦略			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑩チャネル戦略			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑪サービス・マーケティング			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑫実践演習①			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑬実践演習②			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑭プレゼンテーション			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
⑮まとめ			【予習】資料	【予習】120分	【復習】資料	【復習】120分
使用テキスト: ・大学4年間のマーケティング見るだけノート、平野 敦士 カール(著)、宝島社、ISBN: 4800288193 ・適宜資料配布			その他参考文献など: ・観光マーケティング入門、森下晶美(編著)、同友館 ・内閣府認定 マーケティング検定 3 級試験 公式問題集 & 解説 2022年度版、日本マーケティング協会(著)、日本マーケティング協会出版部、ISBN: 4931054072 ・ベーシック・マーケティング、日本マーケティング協会(著)、同文館出版、ISBN: 449564372X			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): マーケティングの基礎を学び、「マーケティング検定3級」の取得にチャレンジしましょう!						

国際観光学科					
科目名: 旅行事業経営論			担当教員 氏名: 米田 晶		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 旅行業勤務の実務経験を活かし、具体的エピソードを交え理解を深めさせたい。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
この30年間で、航空運賃も旅行代金も極端に下がり、デフレ・スパイラルに陥った旅行業の、生き残りをかけた経営戦略を紹介すると共に、業界の今後を学生とともに考える。事業経営ならびに商品に関して、競合他社との最大の差別化はいかに顧客満足、顧客の感動を創出できるかであり、そのためには顧客の「真実の要求」がどこにあるかを的確に見抜き、瑕疵についてはすぐに改善を図る必要があることを、過去に実際に起こった事例研究も含めて理解する。サービス産業におけるイノベーションはモノのイノベーションのように目立つものは少ないが、生産性向上や顧客満足の醸成に大きく作用することが多く、イノベーションこそが企業の成長に欠かせないことを知り、それを実現できる思考力と創造力を養う。					旅行事業、観光産業、旅行商品、サービスマーケティング、バリューチェーン、顧客満足、経営戦略、生産性向上、イノベーション、インバウンド、MICE、着地型観光、地域振興、地域ブランディング、消費者行動、リスク・マネジメント
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		1. 2. 5. 7. 10.			
A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。				
C 論理的思考力	情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 10 %	レポート: 50 %	発表: 20 %	実技試験: 0 %	その他: 20 %	
特記事項: ・上記「その他」は講義およびグループワークへの積極的な参加・発表、「レポート」は毎回提出してもらった復習レポートで評価する。 ・本科目ではアクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。					
アクティブラーニング事業: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 毎回、レポートを提出してもらい、Googleクラスルームを使用します。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 評価をつけて返却します。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①旅行と観光の定義、旅の歴史について理解する			【復習】古代、近世、現代の旅についてまとめる	【復習】240分	
②旅行業の成り立ちと旅行業法について理解する <前回講義の復習>			【復習】旅行業の登録種別の違いについてまとめる	【復習】240分	
③旅行業法の変遷と旅行業の登録形態について理解する <前回講義の復習>			【復習】旅行契約形態の違いについてまとめる	【復習】240分	
④旅行商品の契約形態とバリューチェーンについて理解する <前回講義の復習>			【復習】観光事業の特性についてまとめる	【復習】240分	
⑤OTA旅行業のイノベーションについて理解する <前回講義の復習>			【復習】旅行形態の変化についてまとめる	【復習】240分	
⑥観光・旅行業の顧客満足について理解する <前回講義の復習>			【復習】LCCとレガシーキャリアの違いについてまとめる	【復習】240分	
⑦観光・旅行業の事業特性について理解する <前回講義の復習>			【復習】OTAの取扱商品の特性についてまとめる	【復習】240分	
⑧旅行市場の成熟化について理解する <前回講義の復習>			【復習】MICEについて具体例をあげて説明する	【復習】240分	
⑨国際旅行(インバウンド・ツーリズム)について理解する <前回講義の復習>			【復習】インバウンド拡大に際しての課題についてまとめる	【復習】240分	
⑩旅行会社のグローバル展開について理解する <前回講義の復習>			【復習】E・A・I・Eのグローバル展開についてまとめる	【復習】240分	
⑪着地型観光を手段とする地域振興について理解する <前回講義の復習>			【復習】デスティネーション・マーケティングの枠組みについてまとめる	【復習】240分	
⑫「食」を活かした地域ブランディングについて理解する <前回講義の復習>			【復習】富山の「食」を活かした地域ブランディングについてまとめる	【復習】240分	
⑬消費者行動から見た旅行商品選択について理解する <前回講義の復習>			【復習】消費者の旅行商品選択に影響を及ぼす要素についてまとめる	【復習】240分	
⑭これからの観光・旅行業の役割と存在意義について考える <前回講義の復習>			【復習】みなさんが観光・旅行業に求める役割についてまとめる	【復習】240分	
⑮まとめ <①～⑭の復習>			【予習】これまでの配布資料を復習	【予習】240分	
使用テキスト: テキストはありません。授業時にレジュメを配布します。			その他参考文献など: 旅行産業論(日本交通公社)978-4-866-31338-2 1からの観光(樺碩学舎)978-4-502-67410-5		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 旅行事業経営論は今後学習する科目の基礎となります。毎回レポートをまとめながら基礎知識の定着を図りましょう。					

国際観光学科

科目名: ニューツーリズム概論				担当教員 氏名: 米田 晶、鷹西 恒、山田 拓	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行うのか:					
授業科目の学習教育目標の概要: ニューツーリズムとは、テーマ性が高く、体験的要素を取り入れたり、地域との交流がなされる、地域固有の観光資源を活用したツーリズムである。欧米豪市場を対象としたインバウンドは、滞在の長期化や地域散開傾向にあり、地域創生に極めて有効である。2年次に専門特化し学んでゆく「アドベンチャー・ツーリズム」、「ユニバーサル・ツーリズム」、「食のツーリズム」の基礎を学ぶ。					キーワード ニューツーリズム、アドベンチャー・ツーリズム、ユニバーサル・ツーリズム、食のツーリズム
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1、2、3、4、5、6	
A 知識・理解力	ニューツーリズムを体系的に理解するとともに、インバウンド市場における位置づけを理解できる。				
C 論理的思考力	それぞれのツーリズムの情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。				
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報の整理ができる。				
G 倫理観	観光商品や観光サービスの成り立ちを知ることにより、社会の規範やルールに従って行動できる。				
H コミュニケーション力	語学力を使って、他者との理解を深めることができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 0 %	レポート: 40 %	発表: 40 %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: 山田先生の集中講義日程に留意されたい。 その結果、次の日時は、授業がないので併せ留意されたい。6月26日、7月10日、7月17日					
アグディブラーニング授業: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストは授業終了後であるが、オムニバスターマ終了ごとに小テストを行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 採点の結果をフィードバックする。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【米田】ニューツーリズムの位置づけと現状、食のツーリズムとは何か	4月11日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
②【鷹西】ユニバーサルツーリズムとは何か	4月18日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
③【鷹西】バリアフリーとユニバーサルデザイン	4月25日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
④【鷹西】誰もが安心して旅を楽しむために必要な環境とは(グループワーク)	5月2日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑤【鷹西】自ら好んでする旅と障がいの関係性～ゲストスピーカーに学ぶ～	5月9日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑥【鷹西】ユニバーサルツーリズムへの期待と展望(まとめ)	5月16日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑦【米田】食のツーリズムと地域振興	5月23日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑧【米田】世界のフードフェスティバルと地域振興	5月30日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑨【米田】世界食文化創造都市とガストロノミーを手段とする地域ブランディング	6月6日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑩【山田】アドベンチャーツーリズムとは何か	5月16日(火)1限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑪【山田】地域らしさを売るといふこと	5月16日(火)2限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑫【山田】なぜアドベンチャーツーリズムなのか	5月17日(水)1限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑬【山田】インバウンドとアドベンチャーツーリズム、その展望	5月17日(水)2限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑭【山田】アドベンチャーツーリズムまとめ	5月17日(水)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
⑮【米田】まとめ、2年次選択に向けての説明	6月19日(火)3限	【予習】配布資料を読む。 【復習】まとめシートを記入する。	【予習】120分 【復習】120分		
使用テキスト: 特になし。		その他参考文献など: FT: UNESCO Creative Cities Network UT: 観光庁HP「ユニバーサルツーリズムについて」 ユニバーサルツーリズムに対応した観光案内の実践 方策(観光庁) AT: Adventure Tourism: Development Index ATDI 2020 Affiliate Members Global Report, Volume 9 Global Report on Adventure Tourism			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): インバウンドビジネス、その中でもニューツーリズムを学ぶにあたっての入門の授業である。2年次に選択必修となるそれぞれの分野をオムニバス形式で担当教員から解説する重要な授業である。					

国際観光学科

科目名: フードシステム論			担当教員 氏名: 米田 晶、高野直人(Bit)			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
① フードシステムおよび構成要素となる各産業について理解する ② フードバリューチェーンの構築について理解する ③ 伝統野菜、郷土食など地域固有の食と食文化について理解する ④ 六次産業化、地域ブランディングについて理解する ⑤ 地域のフードシステムに関わる人々に調査し、地域課題を抽出し、解決策を検討する					フードシステム、フードバリューチェーン、 六次産業化、地域ブランディング、地域課題解決、伝統食、食文化	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1、2、3、4、5、7			
A 知識・理解力	知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。					
B 専門的技術	社会調査に関する手法を学び、実践することができる。					
F チームワーク・リーダーシップ	グループワークを通してチームワークを体得し、リーダーシップの重要性を理解する。					
H コミュニケーション力	自分たちで考えたアイデアを適切な用語を使って伝えることができる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 0 %	レポート: 40 %	発表: 30 %	実技試験: 10 %	その他: 20 %		
特記事項: ・上記「その他」は講義およびグループワークへの積極的な参加・発表で評価する。 ・本科目ではアクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表、実技を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 毎回、レポートを提出してもらう。最終試験は別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中、最終プレゼンテーション後に講評を行います。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容	学習に必要な時間(分)		
①【米田・高野】フードシステム論とは?			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	【予習】120分 【復習】120分		
②【米田・高野】フードシステムと関連産業			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	【予習】120分 【復習】120分		
③【米田・高野】世界の食習慣について調べてみよう(グループワーク)			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す	【予習】120分 【復習】120分		
④【米田・高野】世界の食習慣について(発表)			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	【予習】120分 【復習】120分		
⑤【米田・高野】富山県の農業生産について			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す	【予習】120分 【復習】120分		
⑥【米田・高野】食の視点から考えるSDGs(ゲストスピーカー)			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	【予習】120分 【復習】120分		
⑦【米田・高野・目谷】フィールドワーク: 食の現場視察			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す	【予習】120分 【復習】120分		
⑧【米田・高野】フードシステムとフードツーリズム: 地方創生の視点から			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	【予習】120分 【復習】120分		
⑨【米田・高野・目谷】マーケティング視点のメニュー開発			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す	【予習】120分 【復習】120分		
⑩【米田・高野・目谷】ヴィーガン向けラーメンメニューを考える(1)			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	【予習】120分 【復習】120分		
⑪【米田・高野・目谷】ヴィーガン向けラーメンメニューを考える(2)			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す	【予習】120分 【復習】120分		
⑫【米田・高野】提供方法の考案 LaCantine			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す。	【予習】120分 【復習】120分		
⑬【米田・高野・目谷】考案料理の調理、提供、試食、評価(1) LaCantine			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す	【予習】120分 【復習】120分		
⑭【米田・高野・目谷】考案料理の調理、提供、試食、評価(2) LaCantine			【予習】配布資料を読む。 【復習】配布資料を読み返す	【予習】120分 【復習】120分		
⑮【米田・高野】まとめ			【予習】配布資料を読む。 【復習】レポートを作成し、提出する。	【予習】120分 【復習】240分		
使用テキスト: テキストはありません。授業時にレジュメを配布します。				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): フードシステム論は、今後開講されるニューツーリズムのなかでも「食のツーリズム」の基礎となる科目です。フィールドに出て、地方創生に携わるために必要なことを見つけてみましょう!						